



自作の詩を朗読しよう アーツ前橋で詩を募集

問い合わせは アーツ前橋 ☎027-230-1144

「水と緑」をテーマにした詩を募集。応募作品は、アーツ前橋で開催する「音色を奏でる絵画たち」展開連イベントで、専門家による演出の一部として応募者自身に朗読してもらいます。また、使用権や著作権などは前橋市に帰属します。

日時 = 2月15日(日)午後2時～3時30分 (リハーサルは午前10時。詳細は後日連絡)

会場 = アーツ前橋

対象 = リハーサルと本番に参加できる人 (抽選)

申し込み = 1月19日(月)までに郵送で。原稿用紙に水と緑をテーマにした未発表の自作の詩を2編 (400字、2枚以内) と住所・氏名 (ふりがな)・年齢を記入し、〒371-0022千代田町五丁目1-16・アーツ前橋へ

前橋で文化を楽しみましょう 施設利用応援サイト「igoo」が誕生

問い合わせは まちなか再生室 ☎027-230-8866



中心市街地には、公共・民間ホールや広場などが数多くあり、連日、文化イベントや催しものが開催されています。まちなかは人と人が交流する拠点。前橋を今よりも、もっと楽しめるまちにするために、施設利用応援サイト「igoo」(http://www.igoo.info)を開設しました。

igooでは、中央イベント広場、Qのひろば、シネマまえばし、前橋プラザ元気21内にぎわいホール、前橋文学館ホール、前橋テルサホール、フットワークステーション100、広瀬川美術館シュールベルトサロン、煥乎堂ホールなどの公共・民間ホールや広場について情報発信しているほか、イベントカレンダーも掲載。イベントスタッフやサークルメンバーの募集もできます。

寒さが厳しくなる前に 水道管も冬支度しましょう

問い合わせは 水道整備課 ☎027-898-3033

冬の水道管は破損しやすくなります。早めの防寒対策で破裂やひび割れを防ぎましょう。

■凍らないための予防

水道管や蛇口に毛布・布などの保温材を巻き付け、ひもやビニールテープで押さえます。また、布や発泡スチロールなどを詰めたビニール袋をメーターボックスに入れて保温してください。ただし、検針できるようにメーターの上面は空けておいてください。

■破裂して水が噴出したら

メーターボックス内の止水栓を閉めて水を止め、破裂した部分に布やテープを巻くなどの応急処置をして、最寄りの指定給水装置工事業者へ修理を依頼してください。

■凍って水が出ないときは

自然に溶けるのを待つか、タオルをかぶせてゆっくりとぬるま湯をかけます。熱湯を直接かけると水道管が破裂することもあり危険です。絶対にやめてください。



水道管の防寒対策

新春の駅伝に備えて 犬の首輪などもう一度確認

問い合わせは 衛生検査課 ☎027-220-5777

1月1日(日)、新春の上州路を舞台に、ニューイヤー駅伝が開催されます。犬の飼い主は、コースに犬が飛び出さないよう、首輪などを確認してください。

好評につき期間を延長 群馬大橋のライトアップ

問い合わせは まちなか再生室 ☎027-230-8866

群馬大橋のライトアップ点灯期間を平成28年1月31日(日)まで延長します。点灯時間は日没から午後10時までです。

でまんど相乗りタクシー タクシー運賃を一部助成

問い合わせは 交通政策課 ☎027-898-5939

上川淵・下川淵地区で、「でまんど相乗りタクシー」の社会実験を行います。この社会実験では同地区内や市中心部などへの移動に掛かるタクシー運賃を一部助成。利用するには、登録が必要です。登録者には後日、利用状況や移動手段の変化などを伺います。詳しくは問い合わせてください。

期間 = 3月1日(日)～4月30日(休)

対象 = 上川淵・下川淵地区在住で、75歳以上や運転免許

証を持っていない65歳以上の人など
支援額 = 〈2人以上の相乗り乗車〉1人1乗車につき上限500円〈1人乗車〉1人1乗車につき上限1,000円。福祉ハイヤー利用券や身障者手帳などを持っている人は支援額が異なります



まだの人はお早めに 健康診査は2月28日まで

問い合わせは 特定健診については 保健指導室 ☎027-220-5715
後期高齢者健診については 国民健康保険課 ☎027-898-6253
健康増進健診・成人歯科検診については 健康増進課 ☎027-220-5708
がん検診・骨粗しょう症検診については 同課 ☎027-220-5784

本年度の各種健康診査の受診期限は、2月28日(土)です。期限が近づくと医療機関は大変混雑します。まだ受けていない人は早めに受診しましょう。受診の際は受診シールを用意してください。

■成人歯科・骨粗しょう症・がん検診

各検診の対象年齢の人には、受診シールが発行されています。該当する人は検診を受けましょう。ことし4月1日以降に本市に転入した人は、健康増進課に問い合わせ

てください。

■特定・後期高齢者・健康増進健診

これらの健診は、生活習慣病などを早期に発見するための健診です。40歳以上の人を対象に、身体測定や血液・尿検査などを行います。毎年受診して自分の生活習慣を見つめ直しましょう。詳しくは、加入している医療保険者に確認してください。

「花燃ゆ」放映決定記念企画



あなたの疑問に答えます！

問い合わせは 文化国際課 ☎027-898-6992

平成27年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」は、吉田松陰の妹で、初代群馬県令・榎取素彦の妻となる文が主役です。このコーナーでは、「花燃ゆ」に関する皆さんの疑問に答えます。

Q. 初代群馬県令の榎取素彦は、何度か名前を変えたそうですが、どのような名前だったのですか？

A. 榎取素彦は、長州(山口県)萩の藩医である松島家の次男として生まれました。通称は、久米次郎、内蔵次郎と称し、その後、12歳で藩校明倫館の儒者・小田村吉平の養子となり、小田村伊之助と名を変え、文助、素太郎、榎取素彦と名を変えました。名字を「榎を取る」とした

のは、祖先が毛利水軍であったことにちなんでいます。

また、雅号は、耕堂、彝堂、晩稼、棋山、不如帰耕堂、群馬県令時代は、畊堂を使用していました(「畊」は、耕の異体字)。

榎取や県職員らの寄付によって建てられた臨江閣の茶室は、平成20年の都市緑化フェアの際に榎取の雅号である「畊堂」から「畊堂庵」と名が付けられました。



畊堂庵